

2019年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
4月	<p>統一地方選挙 執行 【企画振興課】</p> <p>統一地方選挙が4月に行われ、そのうち、県議会議員選挙が4月7日（日）に行われました。</p> <p>今回は、長野市選挙区と上水内郡選挙区とが合区されて初めての選挙となりました。管内の投票率は、長野市上水内郡選挙区が41.39%（前回44.14%（長野市選挙区※））、須坂市上高井郡選挙区が42.40%（同45.62%）、千曲市埴科郡選挙区が47.79%（同48.50%）と、いずれの選挙区でも前回を下回る結果となりました。</p> <p>※前回、上水内郡選挙区は無投票</p> 
5月	<p>クリーン信州 for ザ・ブルー 【環境課】</p> <p>海洋プラスチック問題について上流県から考えるため、「海と日本プロジェクト」等と連携の上、地元区の方の多数の参加をいただき、千曲川河川敷にて一斉清掃を実施しました。3つのC（チョイス=選択、チェンジ=転換、コレクト=回収）を意識し、プラスチックと賢く付き合う環境にやさしい長野県を目指します。</p> 
5月	<p>県営農村地域防災減災事業 日原地区 日名排水機場が稼働 【農地整備課】</p> <p>長野市信州新町の日名地区で進めていた排水機場の新設工事が5月29日（水）に完了し、豪雨時でも速やかに犀川へ排水出来るようになりました。</p> <p>信州新町では、平成16年、18年に農地が水没する湛水被害が発生し、排水機場の整備が課題でした。</p> <p>今回竣工した日名機場は、信州新町では、橋木地区、大原地区に次ぐ3箇所目の排水機場で、今後、地域の湛水被害防止が期待されます。</p> 
6月	<p>生食用あんず（ハーコット）の 新ブランド「杏月」デビュー 【農政課】</p> <p>ちくまハーコット推進協議会（千曲市、JAながの、県等で構成）は、糖度等一定の基準を満たすハーコットを「杏月（きょうづき）」として販売を開始しました。</p> <p>ブランド化で付加価値を高め、有利販売により農家所得の向上や産地の活性化が期待されます。</p> 

2019年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
7月	<p>CSF（豚コレラ）対策 【農政課】</p> <p>県内養豚農場でのCSF（豚コレラ）発生を受け、庁舎内防疫対策を実施しウイルスの拡散防止に努めました。 また、野生イノシシの感染拡大を防止するため、経口ワクチン散布を実施するとともに、飼養豚へのワクチン接種、養豚農場へのイノシシ防護柵の設置を図り、養豚農場での発生を防ぐよう、防疫対策を実施しました。 さらに、職員の意識向上を図るため防疫演習を実施し、実際に発生した際にスムーズに作業を実施できるよう訓練しました。</p> 
7月 ～ 11月	<p>「信州農業資産カード」の配布と信州農産物が当たるスタンプラリーの開催 【農地整備課】</p> <p>北信地域振興局と連携し、8箇所の「信州農業資産カード」を作成し、スタンプラリーを開催しました。 訪れた方に地域の魅力を広く感じてもらうため、農業用水路・ため池・棚田等のカードの配布を周辺観光スポットで行うとともに、全てのカードを集めて応募した方へ「プレミアムカード」を配布し、更に抽選で信州農産物の詰合せをお送りしました。</p> 
9月	<p>「自然観光マナーカード」配布開始 【環境課】</p> <p>自然公園等でのマナーを呼びかけ、併せて長野地域にある国立公園など豊かな自然の魅力を紹介する4種類の「自然観光マナーカード」を作成し、配布を始めました。 複数種類の「自然観光マナーカード」を北アルプス地域振興局と連携して配布したことで、広域にわたり自然観光を楽しむきっかけづくりができました。</p> 
9月	<p>ながの地域くだものまるごと商談会 【農政課・商工観光課】</p> <p>長野地域で生産された果物やその加工品を対象に、果物の栽培農家や食品加工業者（売り手）と製造、卸、小売、飲食、製菓及び宿泊業者等（買い手）との商談・交流の機会を提供するため、9月24日（火）に「ながの地域くだものまるごと商談会」（会場：犀北館ホテル）を開催しました。 売り手23事業者（生食用（りんご、ぶどう等）、加工品（ジュース、ジャム等）、買い手30事業者（製造、小売、卸・仲卸、宿泊、道の駅・SA等）が参加し、商談数（見学含む）は255件にのぼりました。</p> 

2019年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
<p>9月 ～ 11月</p>	<p>ながの果物語り 新幹線マルシェ 元気な長野をPRします！ 【農政課】</p> <p>JR東日本グループが取り組む、「地域再発見プロジェクト」の一つとして実施されている新幹線ネットワークによる新たな輸送スキームと連携し、「ながの果物語り 新幹線マルシェ」を東京駅「グランルーフ フロント イベントスペース」において、9月から11月まで5回(延べ10日間)開催し、駅利用者へ新鮮な農産物とともにホットな観光情報を提供し、誘客促進・地域の活性化を図りました。</p> <p>4回目と5回目の開催では、台風第19号による甚大な被害を受け、発災以降の「がんばろう！長野」を合言葉に、復興に向けた取組として、長野県×JRグループ×農業者×観光事業者がタックを組み、「ながの果物語り 新幹線マルシェ」を通じて、元気な長野を首都圏の皆様へPRしました。</p> <p>取組には、長野市松代支所、須坂市、千曲市、飯綱町及び地域おこし協力隊等の皆様にも協力いただきました。</p> <p>また、復興支援として、会場運営を担う(株)鉄道会館から売上の一部を長野県「令和元年台風第19号災害義援金」に寄付をいただきました。</p> 
<p>9月</p>	<p>地域振興推進費を活用した 「スクールフォレスト」の開催 【林務課・北信教育事務所】</p> <p>森林(自然)環境を、教育に活用するため、様々な学校関係者による交流会を9月30日(月)に長野西高等学校中条校において開催しました。</p> <p>信州大学副学長平野吉直先生の基調講演の他、学校林を活用した森林体験活動が盛んな西条小学校の児童、長野西高等学校中条校の生徒による活動報告やアウトドアワークショップ(中条校学校林)を通じた森林環境教育の情報交換等も行われ、1日を通してそれぞれの参加者が森林環境を活かした教育活動のヒントを得ることができました。</p> 
<p>9月</p>	<p>「姨捨の棚田」で稲刈り体験 【農地整備課】</p> <p>日本棚田百選のひとつで、重要文化的景観にも指定されている「姨捨の棚田」において、9月28日(土)に稲刈り体験を行いました。</p> <p>県内外から約20名の皆様が参加し、姨捨棚田名月会の皆様の指導を受けながら、稲刈りからハゼ掛けまでの作業を体験しました。途中でおこびれ(棚田米のおにぎりなど)を食べながら、大人も子供も楽しい時間を過ごしました。</p> 

2019年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
10月	<p>台風第19号により 長野地域に甚大な被害 【全課】</p> <p>10月に発生した台風第19号により、11日（金）には長野県初の特別大雨警報が発令されました。管内死傷者100名以上、住家被害6千世帯以上、また農地や事業所などに甚大な被害をもたらしました。</p> <p>農地農業用施設の被害額は226億円にも及び、主に被害箇所は排水機場、千曲川河川内や長沼地区の農地でした。林道や山腹、木材加工施設にも甚大な被害をもたらし、管内の被害額は、約10億円となりました。国の災害復旧事業や県単独事業を活用し、早期復旧を進めていきます。</p> <p>また、千曲川の氾濫等により多量の災害廃棄物が発生しました。今後、被災した家屋の解体により、さらに多くの災害廃棄物が発生する見込みですが、一日も早い処理を目指します。</p>  
10月	<p>長野地域産の果物を使用したスイーツが一堂に介した、 「ながの果物語り Sweets Buffet 2nd」 を開催！ 【農政課】</p> <p>長野地域の特産である「果物」を使用して作られているスイーツを消費者や販売事業者の皆様幅広く発信し、消費を拡大することにより農工商観光の振興を図るため、「ながの果物語り Sweets buffet 2nd」と名付けたお菓子の試食会を10月1日（火）にホテルメトロポリタン長野で開催しました。</p> <p>管内の12の出展者による腕によりをかけて作り上げたケーキやタルト、和菓子などが提供され、スイーツ大好き女子を中心に180名の皆様が長野地域の果物を使用したスイーツを堪能しました。</p> <p>出展者からのPRタイムも設け、来場者との交流も広がりました。また、参加者によるインスタグラム（#ながの果物語り）やツイッターなどSNSでの発信も行われました。</p> 
10月 ～ 11月	<p>体験と交流による広域観光 「学びツーリズム」モニターツアー開催 【商工観光課】</p> <p>首都圏等のお客様を対象に、長野地域の特色や強みを生かした産業、歴史、健康・長寿、伝統・文化の4テーマごとに、興味や知的好奇心を喚起するモデル的な観光ルートを設定し、ガイドや語り部の案内とともに学び（体験・交流）ながら圏域内を周遊する「学びツーリズム」モニターツアーを開催しました。</p>

2019年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> <p>・ 10月18日（金） 「ながの酒蔵バスツアー」 「北しなの酒トレイル・プロジェクト2019」との連携により開催し、メディア、旅行エージェント等15名が参加。信州・地酒アドバイザーを案内人として、長野エリアの酒蔵5か所を巡り、酒蔵毎の特徴やこだわり等信州の酒づくりについて学ぶとともに、観光資源化に向けた検討を行いました。</p>  <p>・ 11月16日（土） 「長野サムライルート ～日本刀とともに戦国武将が駆けた歴史の舞台を学ぶ～」 首都圏から23名が参加し、宮入鍛刀道場(坂城町)での刀匠宮入小左衛門行平氏による「日本刀の鍛錬」の解説・実演をはじめ、戦国時代の上杉氏、武田氏、真田氏にまつわる名所・旧跡である武水別神社（千曲市）、川中島古戦場（長野市）、長国寺（長野市松代）を地元の案内人とともに巡り、長野地域の歴史について学ぶとともに、観光ルートとしての可能性を検討していただきました。</p>  <p>・ 11月23日（土） 「発酵と自然 ～自然の力で体の中から健康になる～」 首都圏から41名が参加し、塩屋醸造（須坂市）で信州を代表する発酵食品であるみそづくりや、林檎学校醸造所（飯綱町）では地元産のりんごを活用したシードルづくりについて、取り組みや造り手の思いなどについて学び、雷滝（高山村）では豪快な滝を間近に見ながら森林浴を体験するなど、自然や食文化の体験を通じて「発酵・長寿県」長野を体感するとともに、観光ルートとしての可能性を検討していただきました。</p>  <p>・ 11月30日（土） 「信州の暮らしに息づく伝統工芸と食文化」 県内外から19名が参加し、戸隠では職人の指導を受けながら伝統的工芸品である戸隠竹細工を、小川村では地元の方々の手ほどきによる信州を代表する郷土食のおやき作りを体験するなど、今に息づく信州の伝統と食文化を体感するとともに、観光ルートとしての可能性を検討していただきました。</p>  <p>今後、「学びツーリズム」の旅行商品化への働き掛けを進めるとともに「体験と交流」を軸とした長野地域の特長を生かした広域観光を推進していきます。</p>

2019年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
11月	<p data-bbox="277 293 1050 344">長野合同庁舎フードドライブの実施</p> <p data-bbox="336 360 1082 405">【総務管理課、環境課、長野保健福祉事務所】</p> <p data-bbox="229 450 1102 600">11月19日の「いい育児の日」に合わせて開かれるこどもカフェ・食堂の支援と生活困窮者支援のため、11月11日（月）に、NPO法人と協働で「長野合同庁舎フードドライブ」を開催しました。</p> <p data-bbox="229 607 1485 680">地域の12企業・JAを含めた多くの皆様から、5,606kgもの食品、子ども用品をご寄付いただき、県内各地のこどもカフェ・食堂等で活用していただきました。</p> <p data-bbox="229 687 1517 801">また、8月には、NPO法人フードバンク信州が実施する「夏休み子ども応援キャンペーン」に賛同したフードドライブを開催し、ご寄付いただいた73kgの食料は、夏休み中に十分な食事や栄養がとれない子どもたちに届けられました。</p> 